

平成27年6月

長崎港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、長崎港松が枝岸壁への16万GT級客船の入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

入出港や係留の安全性の検討に先立って、女神大橋の桁下高と対象船舶のマスト高の関係、防舷材の吸収エネルギーに対応した接岸速度の確認等の基礎検討を行った。

入出港の安全性については、航路内において行き会い船が無いことを前提として検討することとし、外力下における航路内航行、変針、泊地内着離岸操船等の各局面において、予め予備操船実験を実施し、本実験ケースの絞り込みを行ったうえでビジュアル型操船シミュレータを用いた操船実験を行って検証し、入出港時の安全性を調査・検討して必要な航行安全対策を取りまとめた。

また、係留の安全性の検討については、係留動揺シミュレーション手法を用いて通常係留時及びアビキ発生時における外力による船体挙動等について状況解析するとともに係留可能な外力条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 委員会等
- (3) 大型客船入港計画
- (4) 航行環境
- (5) 基礎検討
- (6) 入出港操船における外力影響の検討
- (7) 係留の検討
- (8) 航行安全対策